

進路だより

令和8年8月28日(金)第3号 文責：進路指導係

夏休みが終わりました。ご家庭でも、将来について話し合う機会がありましたか。

学校では、7月に教員研修として、希望する教員が道北にある福祉施設を見学してきました。また8月には、PTA 主催の視察研修があり、希望する保護者の方、生徒の皆さんで豊富・幌延の2つの施設を見学してきました。見学後、施設を実際に見ることや話を聞くことの重要性を感じたという声が多かったため、今号では施設見学参加者の声をお届けします。

教員施設見学参加者の声

<施設の様子に関すること>

- ・利用者の方や施設で働く人の実際の様子を見ることができてよかった。
- ・利用者の方の生活や職員の工夫を知ることができた。
- ・各施設で行っている作業の様子や、入所者への支援について知ることができた。
- ・施設の概要に加えて利用者の方に対しての支援の工夫、配慮など詳しく説明が聞けた。
- ・施設内が清潔かどうかなど、パンフレットでは分からない部分も実際に見ることができ良かった。
- ・事業所での対応や、新たな取組などを聞いて良かった。
- ・地域、施設によって作業内容、雰囲気、年齢構成などが異なり、それぞれの特徴を理解することができた。
- ・施設の周辺の環境を知ることができた。



<作業に関すること>

- ・風連別学園では、B 型就労の方と生活介護の方が同じ場所で一緒に仕事をしていて驚いた。例えば水産加工の作業では、筋子をほぐしてイクラにする仕事をしている人、血合いを取り除く作業だけを仕事をしている人、生ごみを捨てる作業の人など、それぞれの利用者さんのできること、得意なことをいかして、実態に合わせて仕事をしていた。

<卒業後に関すること>

- ・卒業後にどのようなことが必要なのかを知ることができた。
- ・卒業するまでにどのような指導をしていくかを考えることができた。
- ・施設入所に向けて、保護者、学校、施設でどのような情報共有が必要かを知ることができた。
- ・施設利用に関するお金の話（20 才で障がい者年金を受給するまでのお金のやり繰り、工賃から利用料を支払うと手元にいくらくらい残るか、お金の管理はどのようにしているか）を具体的に聞くことができた。
- ・グループホームの居室や利用者の方の生活の様子（買い物、帰省、休日の過ごし方、通院など）を聞き、イメージが持てた。



実際に見学することで、パンフレットやホームページを見るだけでは分からないことを知り、雰囲気を感じることができます。施設によって、方針、作業内容、施設や周辺の環境などは大きく異なりますので、複数の施設を見学して、本人にあった施設をお子さんと一緒に選ぶことが大切になります。

施設見学は、保護者の方のみで行っていただくことも、長期休業中などに、お子さんと一緒に行くことも可能です。進路指導係を通して施設に連絡をしますので、見学先と希望日時を担任までお知らせください。